

卸系多収米

福井の稲作を『強い粒づくり』大粒&多収でつなぐ

KYOU-RYU. EXPRESS

令和6年7月26日

J A 福井県

つきあかり速報 No.8

高温耐性品種で多収と高品質を目指して!!

猛烈な暑さと強い日差しが連日にわたって続いています。また、夜温の下がり方が鈍く、熱帯夜(夜間温度25℃以上)が続く見込みと予想されています。夜温が高いと稲の登熟に悪影響を及ぼすため、今後の気象には警戒が必要です。人体の体温を超える暑さの中での農作業は非常にリスクを伴うため、2名以上で作業をおこない、こまめな休息と水分補給が重要です。さて、今週のつきあかりは、穂揃期を迎えました。今週末から来週にかけては、傾穂期になると思われます。今後も適切な水管理により登熟向上に努めてください。

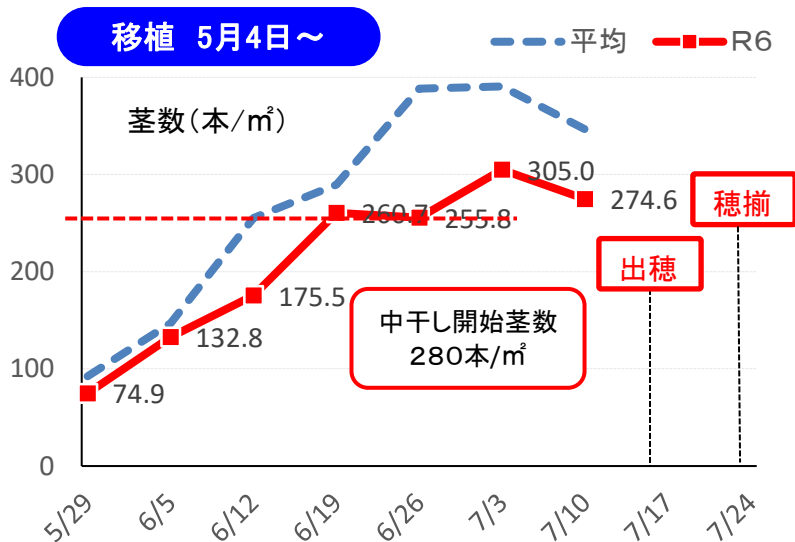
1. J A 生育調査状況 (7月24日現在)

栽培区分	平均作業日	草丈 cm	茎数 本/㎡	葉令	葉色	幼穂
移植	5月4日	-	-	-	-	穂揃

【生育状況】

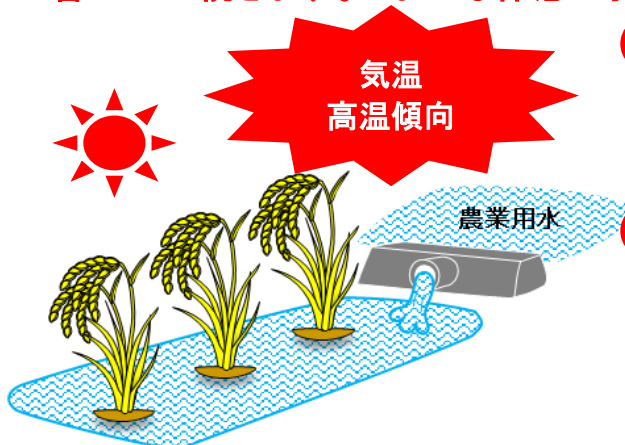
- 穂揃期を迎えています。
- 穂揃期は、高温による感受性が高く、乳白米の発生を防ぐため、湛水状態を維持しましょう。
- 今後は、水管理一択です。乳白米、胴割米防止のため間断通水をおこないましょう。

2. 茎数の推移と今後の管理



3. つきあかり栽培管理のポイント!

暑い日が続きます。こまめな休憩と水分補給で熱中症対策に努めましょう!



乳白米

『水管理』

猛暑になると、乳白米、胴割米が発生し格落ちします。水管理に注意をしましょう。乳白米を抑えるために、水を長く溜めないように、表面を乾かさないようにしましょう。

胴割米

『水管理』『適期刈取』

胴割米を抑えるために、収穫直前「収穫7日前」まで、間断通水をしましょう。高温時の湛水は、根腐れの原因になるので、3日以上は湛水はやめましょう。(30℃以上の夜の高温や、強風によるフェーン現象の時は、一時的に深水にしましょう。)